



工藤 秀子 議員



録画映像

地域包括ケアシステムの構築に関する件

問 地域包括センターは、大野地区にもあったほうが良いのではないかと

答 市長
大野地区の方から相談があった場合は、訪問等によって相談できる環境を整えている

問 第8期北斗市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で基本テーマ、「高齢者になっても住み慣れた地域の中で、健康で安心して生きがいを持って暮らせる地域社会の実現」とあります。

大野地区の市民より、せせらぎ温泉が指定管理となり、せせらぎ保健センターにあつた地域包括支援センターの業務が上磯地区に集約されましたが、大野地区でも高齢者が地域で安心して暮らせるよう地域包括支援センターがあつたほうが良いのではとお話がありました。

計画内に地域包括支援センターの機能強化として、高齢者の増加が予想される

ことから今後は新たな地域包括支援センターの開設も検討するとあります。今後の事業予定と市としてのお考えを伺います。

答 (市長) 現在、せせらぎ保健センターにありましたが地域包括支援センター支所は廃止され、本所に集約されていますが、大野地区の方から総合相談があつた場合は、訪問等によって高齢者が安心して相談できる環境を整えています。

また、事務の効率化を図ることで、利用者にとって公平かつ満足度が高いサービスが確保されていると考えていることから、現在は、新たな地域包括支援センターの設置は予定していません。

しかし、2025年問題や地域共生社会の推進で複合化した支援ニーズに対応するため支援センター業務が著しく増加し、現在の体制が難しい場合は新設の判断をする場合があります。



北斗市地域包括支援センター支所が
はいていたせせらぎ保健センター

マイナンバーカードの交付に関する件

問 施設入所者や本人が交付時に来られない場合の対応は

答 市長
施設入所等の特定の状況にある場合は、やむを得ないものとして代理人が受け取ることができる

問 マイナンバーカードの交付申請を促すための記事が広報ほくと2月号にも載っています。

北斗市の1月時点での交付枚数を年代別の割合でお知らせください。

また、交付に関して、施設入所者や本人が交付時に来られない場合の対応はどのようにしているのかお知らせください。

答 (市長) マイナンバーカードは、国民の利便性の向上や、より公平かつ効率的な行政事務に資するものであるとの認識から、本市においても、令和4年度から交付事務の体制強化を図り普及拡大に努めており、1月末での交付率は59.1%で北海道平均を上回ったところです。

施設入所者や本人がマイナンバーカードの交付時に来られない場合の対応は、法令により、本人交付が原則となつていますが、長期の入院や介護施設等に入所、あるいは、障害をお持ちであるなど、特定の状況にあるケースについては、やむを得ないものとして、代理人がカードを受け取ることができるようになつています。

また、施設入所者で代理人が受け取る場合は、申請者本人の来庁が困難であることを証明する施設入所証明書や診断書、障害者手帳等のほか、申請者本人の顔写真付き身分証明書を1点以上含む複数の原本持参が必要となります。

問 受け取りに来られない場合の保管期間はどれくらいなのか。

答 (市民課長) 受け取りのご案内をするとともに、3カ月以上は保管している状況です。

◆北斗市のマイナンバーカード年代別交付割合

※令和5年1月末時点

区分	0~20歳未満	20~40歳未満	40~60歳未満	60~80歳未満	80歳以上
交付割合	55.9%	56.4%	58.6%	62.3%	39.2%
累計交付件数	26,623件				
全体交付割合	59.1% (北海道：58.9%)				

(出典：市民課課内資料より)